

第 2 回 日本時間生物学会学術大会

会期：1995年11月7日（火）・8日（水）
会場：名古屋大学シンポジオン会議室・豊田講堂ロビー
〒464 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-3059

学術大会事務局
〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部資源生物環境学科
動物機能制御学講座内
TEL 052-789-4066

○大会参加者の皆様へ

総合受付（シンポジオン内ロビー）

- (1) 第1日（11月7日）目の午前8時から行います。学術集会参加費は3000円です。未納の方は受付にてお納めください。受付にて名札をお渡しいたしますので、名札にお名前と所属をご記入の上学術集会当日は常に着用してください。なお、懇親会の受付も行っております、参加希望なされる方で、懇親会費を未納の方は受付にてお納めください。懇親会費は4000円です。
- (2) 学会発表される方で、学会員になっておられない方は、受付にて入会手続きをお済ませ下さい。年会費は3000円です。

○口頭発表

演者の皆様へ

- (1) 口演時間は8分、討論時間は4分です。口演時間は厳守してください（従来の持ち時間と異なります）。
- (2) 演者の方は各セッションの開始30分前までにスライドを必ず『スライド受け付け』に提出してください。
- (3) 演者は会場内の次演者席に必ず着席してください。
- (4) スライドプロジェクターは一台です。OHPも一台使用できます。尚、OHPの使用を希望される方は、あらかじめ『スライド受け付け』まで申し出てください。

座長の皆様へ

セッションの5分前までに会場の『スライド受け付け』にお立ち寄りください。担当セッションの進行はお任せしますが、決められた時刻は厳守してください。口頭発表の時間は一題12分（口演8分、討論4分）です。

○ポスター発表

発表者の皆様へ

- (1) ポスターボードのサイズは幅1m20cm、高さ2m10cmです。演

題番号が左上隅に張ってありますので、各自ボードに掲示してください。掲示に必要な画鋸は大会事務局で用意いたします。

- (2) ポスターの掲示は、**第一日目（11月7日）の昼休みに行ない、二日目（11月8日）の午後4時前までに取り外してください。**
- (3) ポスター発表は、**二日目の午前に行ないます。**ポスター前で説明・討論していただきます。奇数と偶数番号のポスターを各々1時間交互に説明・討論する時間がとってあります。発表者の方は、指定の時間内はポスターの前で説明してください。説明時間は、**奇数番号が午前9時30分から午前10時30分、偶数番号が午前11時から12時です。**

○総会

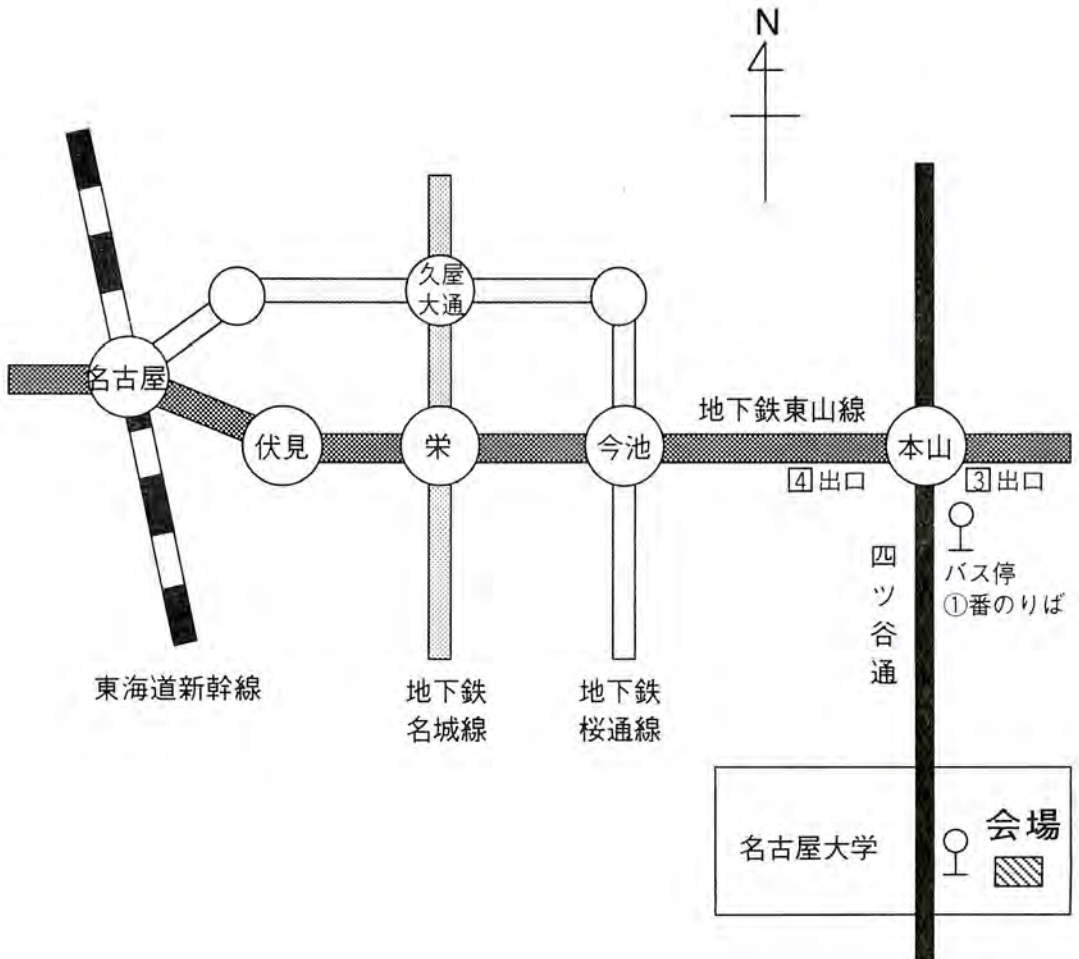
11月7日（第一日）13：00～14：00にシンポジオン会議室で開催します。

時間生物学会会場までの交通案内

名古屋～本山 地下鉄東山線(藤が丘行) 乗車時間約20分

徒歩：本山③番もしくは④番出口から四ツ谷通に出て南へ約15分

バス：バス停本山①番のりば 市バス幹線3系統（平針住宅行か島田住宅行）に乗り、名古屋大学前で下車 朝は5分間隔で運行しています-



名古屋大学東山キャンパス



第2回日本時間生物学会 学術大会日程

11月7日（火）

シンポジオン会議室

豊田講堂ロビー

08:00	受付
09:00	
	I . II . III
12:00	昼 休 み
13:00	
14:00	IV . V
15:48	coffee break
16:00	シンポジウム
18:20	
18:30	懇 親 会
20:30	

12:00	ポスター掲示 展 示
13:00	

11月8日（水）

13:00	特別講演
13:45	
	VI . VII
15:33	coffee break
15:50	VIII . IX
17:50	

09:30	ポスター説明・討論 (奇数番号)
10:30	
11:00	ポスター説明・討論 (偶数番号)
12:00	
13:00	昼 休 み
15:50	
	ここまでポスターを 撤去

第2回日本時間生物学会学術大会
1995年11月7日(火)、8日(水)
名古屋大学シンポジオン会議室・豊田講堂ロビー
名古屋市千種区不老町、電話 052-789-3059

口頭発表

1995年11月7日(火)

【I】09:00-09:48

座長 林博史

I-1 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の血圧日内変動

○野田明子 岡田保 粥川裕平 太田龍朗

名古屋大学医療技術短期大学部 名古屋大学医学部附属病院精神科

I-2 本態性高血圧における血圧、心拍数の朝上昇と夕降下の意義

○岩崎宏 奥谷充章 望月泰朗 河埜功 井尻裕 田村康二

山梨医科大学第二内科

I-3 夜勤の血圧日内リズムへの影響-個人差について

○本橋豊 本橋和代 中村和利 前田明 大友昭彦 田中正敏

福島県立医科大学衛生学講座

I-4 不規則交替勤務者におけるメラトニンリズムの経年的変化

○間所重樹¹ 中川博巖¹ 三崎究¹ 猪原久貴¹ 伊藤達彦² 伊崎公徳¹

福井医科大学精神医学教室¹ 福井県立すこやかシルバー病院²

【II】09:48-10:48

座長 太田龍朗

II-1 睡眠・睡眠感・気分の季節性変動

○碓氷章¹ 大日方一夫² 石束嘉和¹ 岡戸民雄¹ 白石孝一¹ 福澤等¹

山梨医科大学精神神経医学教室¹ 新潟大学医学部第1外科学教室²

II-2 南極における睡眠の季節性変動

○大日方一夫¹ 碓氷章² 石束嘉和² 岡戸民雄² 白石孝一² 福澤等²

新潟大学医学部第1外科学教室¹ 山梨医科大学精神神経医学教室²

II-3 ビタミンB12の生体リズム及び眠気に与える影響

○小曾根基裕 伊藤洋 松永直樹 山寺亘 門倉真 植松昌俊

大山栄作 佐々木三男 牛島定信

東京慈恵会医科大学精神医学教室

II-4 Angelman症候群の一例における睡眠障害に対する薬物治療

○田中総一郎^{1,3} 須貝研司¹ 高橋清久²

国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹

国立精神・神経センター武蔵病院精神科² 東北大学医学部小児科³

II-5 健康成人男子におよぼす塩酸トラゾドンとイミプラミンの概日リズムにおよぼす影響

○中村秀一¹ 山寺博史¹ 鈴木英朗¹ 竹澤健司¹ 木村真人¹ 森隆夫¹

遠藤俊吉¹ 白川修一郎²

日本医科大学精神医学教室¹ 国立精神・神経センター精神保健研究所²

【Ⅲ】 10:48-12:00

座長 井上慎一

III-1 視交叉上核培養細胞から放出される興奮性アミノ酸のサーカディアンリズムに対する細胞外Ca²⁺の作用

○篠原一之^{1,2} 本間さと¹ 勝野由美子¹ 安倍博¹ 本間研一¹

北海道大学医学部生理学第一講座¹ 横浜市立大学医学部第二生理学教室²

III-2 ラットSCN細胞培養系に発現するバゾプレッシンとVIP放出力リズム

○本間さと 勝野由美子 篠原一之 安倍博 本間研一

北海道大学医学部生理学第一講座

III-3 幼若ラット視交叉上核におけるVIPmRNAリズム

伴由利子¹ 井端泰彦² ○岡村均³

京都府医大眼科学¹ 京都府医大第二解剖学² 神戸大学医学部解剖学第二講座³

III-4 視神経刺激及び高濃度KClによる視交叉上核からのVIP遊離と加齢による影響

○松本安代¹ 小野道子¹ 島添隆雄¹ 柴田重信² 渡辺繁紀¹

九州大学薬学部薬理学教室¹ 早稲田大学人間科学部薬理²

III-5 視交叉上核における長期増強現象

○西川由希子¹ 島添隆雄¹ 柴田重信² 渡辺繁紀¹

九州大学薬学部薬理学教室¹ 早稲田大学人間科学部薬理²

III-6 視交叉上核特異的にper繰り返しDNA配列へ結合する核蛋白質

○浜田俊幸 松井三和 加香孝一朗 石田直理雄

通産省・工技院・生命研・生体情報・細胞機能

昼食 12:00-13:00

総会 13:00-14:00

【IV】 14 : 00 - 14 : 48

座長 永山治男

IV-1 非24時間睡眠・覚醒症候群における深部体温リズム

○尾崎茂 内山真 白川修一郎 大川匡子
国立精神・神経センター精神保健研究所

IV-2 非24時間睡眠・覚醒症候群の1例にみられた光の影響について

○内山真 尾崎茂 白川修一郎 大川匡子
国立精神・神経センター精神保健研究所

IV-3 日中の光照射によるメラトニンリズムの位相反応

○橋本聡子¹ 本間研一¹ 中村宏治¹ 本間さと¹ 香坂雅子²
北海道大学医学部生理学第一講座¹ 札幌花園病院²

IV-4 起床前漸増光刺激が健常者の体温及び睡眠感に及ぼす影響について

○小山恵美 中野紀夫 今井健之 萩原啓
松下電工株式会社電器開発研究所

【V】 14 : 48 - 15 : 48

座長 柴田重信

V-1 齧歯目動物の切歯象牙質形成に見られるサーカディアンリズム

○篠田壽 大塚美重
東北大学歯学部歯科薬理学講座

V-2 歯にみられる生体リズムの個体発生

○大塚美重 篠田壽
東北大学歯学部歯科薬理学講座

V-3 行動リズムおよび体温リズムに及ぼすエタノールの影響

○恵紙英昭 辻丸秀策 井田能成 本間五郎 福山裕夫 中沢洋一
久留米大学精神神経科学教室

V-4 セロトニン1Aレセプターアゴニスト8-OH-DPATに対する反応性のサーカディアンおよびサーカニユアルリズム

○呂建強 永山治男
大分医科大学精神神経医学教室

V-5 ハムスター行動リズムの光パルスによる位相前進の移行期

○渡辺和人¹ J.H.Meijer
ライデン大学・生理 (現獨協医科大学生理¹)

Coffee Break 15:48-16:00

シンポジウム
メラトニン
～基礎研究からヒトへの展開～

16:00-18:20

座長 海老原史樹文・大川匡子

S-1 メラトニンと動・植物

○服部淳彦

聖マリアンナ医科大学第一解剖

S-2 メラトニン受容体の分子生物学

○海老澤尚

埼玉医科大学精神医学教室

S-3 メラトニンと動物のリズム

○村上昇 丸本信之 中原桂子

宮崎大学農学部獣医学科家畜生理

S-4 メラトニンとヒトのリズム

○本間研一 橋本聡子 中村宏治 宮崎俊彦 本間さと

北海道大学医学部生理学第一講座

S-5 メラトニンと臨床

○三池輝久 友田明美 本田貴子

熊本大学医学部発達小児科

懇親会（ユニバーサルクラブ）18:30-20:30

1995年11月8日（水）

ポスター説明・討論 奇数番号 09:30-10:30

ポスター説明・討論 偶数番号 11:00-12:00

昼食 12:00-13:00

特別講演 13:00-13:45

座長 太田龍朗

"Effects of Lifestyle Regularity and Irregularity on Human
Circadian Rhythms and Sleep"

Dr. Timothy H. Monk

Sleep and Chronobiology Center

University of Pittsburgh School of Medicine

【VI】 13 : 45 - 14 : 45

座長 杉田義郎

VI-1 視覚障害者（施設入所者）の睡眠調査

○猪原久貴¹ 間所重樹¹ 三崎究¹ 中川博樹² 伊藤達彦² 伊崎公德¹
福井医科大学精神医学教室¹ 県立すこやかシルバー病院²

VI-2 中高校生における睡眠習慣の実態調査（Ⅱ）

○井上雄一¹ 植田俊幸² 挾間秀文³ 白川修一郎⁴ 大川匡子⁴
鳥取大学医学部神経精神医学教室¹ 国立療養所静岡東病院² 安来第一病院³
国立精神・神経センター精神保健研究所⁴

VI-3 覚醒度定量化法AATとMSLTとの関係

○道盛章弘¹ Claudio Stampi² Polly Stone²
松下電工株式会社電器開発研究所¹
Institute for Circadian Physiology, Cambridge, U.S.A.²

VI-4 部分断眠の認知機能に及ぼす影響

○榎本哲郎¹ 内山真² 尾崎茂² 中島亨² 浦田重治郎¹ 金吉晴²
白川修一郎² 大川匡子²
国立精神・神経センター国府台病院精神科¹ 精神保健研究所²

VI-5 20-40分睡眠覚醒リズムにおける睡眠時間と反応時間の関係

○佐谷誠司¹ 黒田健治¹ 江村成就¹ 野村吉宣¹ 横井昌人¹ 吉田祥¹
宮崎真一良²
大阪医科大学神経精神医学教室¹ 阪南病院²

【VII】 14 : 45 - 15 : 33

座長 内山真

VII-1 リズム障害の既往がある痴呆患者におけるメラトニンリズムについて

○内田勝久¹ 岡本典雄² 森田之大¹
浜松医科大学生理学第一講座¹ 共立菊川総合病院精神科²

VII-2 高齢者を対象とした手術の睡眠に及ぼす影響-第一報

○中島常夫¹ 亀井雄一² 浦田重治郎² 白川修一郎² 清水順三郎²
北村温³ 長谷川重夫⁴ 大川匡子⁵
総合病院国保旭中央病院神経精神科¹
国立精神・神経センター 国府台病院精神科² 泌尿器科³ 外科⁴
国立精神・神経センター精神保健研究所⁵

VII-3 高齢者の発熱のリズム

○安藤富士子 山本隆一 伊藤知美 井口昭久
名古屋大学医学部老年科学教室

VII-4 在宅高齢者の深部体温リズムおよびエネルギー代謝量の検討

○向井正樹 内村直尚 坂本哲郎 平野隆 土山祐一郎 橋爪祐二 土屋智
内田隆 小島居剛 中沢洋一
久留米大学医学部精神神経科

Coffee Break 15:33-15:50

【VIII】 15 : 50 - 16 : 50

座長 安倍博

VIII-1 カマドコオロギ概日ペースメーカー間の相互作用

○阿部好晃 富岡憲治
山口大学理学部自然情報

VIII-2 ヌタウナギ（円口類）の視覚情報が視蓋前域を介して概日リズムを明暗条件に同調させる可能性

○大岡貞子¹ 門田哲夫² 竹内浩明³
跡見学園女子大学¹ 横浜市立大学医学部解剖² 静岡大学理学部生物³

VIII-3 アフリカツメガエル*Xenopus laevis*の概日活動リズム：加齢および眼球除去の影響

○原田由美子 藤澤裕美 気賀沢恭子 大石正
奈良女子大学理学部生物

VIII-4 準自然状態におけるアカネズミの活動

○松岡美紀 益田敦子 大石正
奈良女子大学理学部生物

VIII-5 松果体による、ratの中枢性生殖内分泌機能調節機序について

○中沢和美¹ 鈴木健治¹ 牧野恒久² 野沢志朗³ S.M.McCann⁴
警友病院産婦人科¹ 東海大学産婦人科² 慶応大学産婦人科³ テキサス大学⁴

【IX】 16：50 - 17：50

座長 中島秀明

IX-1 藍色細菌の多様な生物時計変異を相補する遺伝子の解析 I

○岩崎秀雄¹ 近藤孝男² 沓名伸介² 青木摂之² Carol Andersson³
Susan S. Golden³ 石浦正寛²

名古屋大学大学院人間情報学研究科¹ 名古屋大学理学部生物² Texas A&M大学³

IX-2 藍色細菌の多様な生物時計変異を相補する遺伝子の解析 II

○石浦正寛¹ 青木摂之¹ 沓名伸介¹ 岩崎秀雄² 宇津巻竜也¹ 近藤孝男¹
名古屋大学理学部生物¹ 名古屋大学大学院人間情報²

IX-3 ゴウリムシの生物時計による繊毛活性の制御とセカンドメッセンジャー

○長谷川建治¹ 塚原保夫⁴ 島本昌和² 石崎茂生³
北里大学医学部生理¹ 精神科学² 衛生学部生物科学³
理化学研究所フォトダイナミクス研究センター⁴

IX-4 ミドリゴウリムシのクローン寿命と概日リズム周期との関係

○三輪五十二
茨城大学教養部生物

IX-5 粘菌の収縮リズムにおける多重周期性：等比級数的階層性

○垣内康孝 上田哲男
名古屋大学人間情報学研究科

ポスター発表 (豊田講堂ロビー)

1995年11月8日 (火) 9:30-12:00

ポスター説明・討論 奇数番号 09:30-10:30

ポスター説明・討論 偶数番号 11:00-12:00

- P-1 粘菌の収縮リズムの非線形力学的側面：位相と周波数の多重的發展
○中垣俊之 上田哲男
名古屋大学大学院人間情報学研究科生物情報
- P-2 ゾウリムシのPKAの概日変化
○島本昌和¹ 長谷川建治² 石崎茂生³ 塚原保夫⁴
北里大学医学部 精神科学¹ 生理² 衛生学部生物科学³
理化学研究所フォトダイナミクス研究センター⁴
- P-3 アカパンカビ時計機構の硫黄代謝からの分子生物学的解析
○小内清 秋山正志 中島秀明
岡山大学理学部生物
- P-4 アカパンカビの生物時計におけるカルモジュリン分子の役割
○定金豊 中島秀明
岡山大学理学部生物
- P-5 藍色細菌*Synechococcus* sp. PCC7942のSP22生物時計突然変異の解析
○沓名伸介 近藤孝男 石浦正寛
名古屋大学理学部生物学科
- P-6 藍色細菌*Synechocystis* sp. PCC6803のclock-controlled genesの解析
○青木撰之 近藤孝男 石浦正寛
名古屋大学理学部生物学科
- P-7 プロモータートラップ法による藍色細菌の生物時計の無周期突然変異の解析
○近藤孝男¹ Carl H. Johnson² Susan S. Golden³ 石浦正寛¹
名古屋大学理学部生物学科¹ Vanderbilt大学² Texas A&M大学³
- P-8 ヤママユ(*Antheraea*)属の休眠と光周時計の構造
○竹田真木生 松本雅之 東野洋平
神戸大学農学部昆虫科学

- P-9 *Sweltsa* sp.の羽化の日周期性と環境要因
○林由佳 磯辺ゆう 大石正
奈良女子大理学部生物
- P-10 アホートル3系統 (Wild, White, Eyeless) の活動リズムの比較
○大石正¹ 水田敬子¹ 山鹿百合子¹ 竹内浩昭²
奈良女子大理学部生物¹ 静岡大学理学部生物²
- P-11 イモリの活動リズム-明暗及び温度サイクルへの同調性
○長井清香 神崎淑子 大石正
奈良女子大理学部生物
- P-12 キンギョにおける遊泳活動と自発摂餌活動の
サーカディアンリズム
○飯郷雅之¹ F.J. Sanchez-Vazquez^{2,3} J.A. Madrid³ 田畑満生²
聖マリアンナ医科大学¹ 西東京科学大学バイオ² University of Murcia³
- P-13 ニホンウズラの眼、松果体、脳におけるATPの日内リズム
○鈴木恵美 大石正
奈良女子大理学部生物
- P-14 microdialysis法によるハトの眼球内におけるメラトニン及び
ドーパミンリズムの測定
○足立明人 長谷川稔 海老原史樹文
名古屋大学農学部動物機能制御
- P-15 ピノプシン抗体P7によるニワトリ松果体の免疫組織化学
○蛭薙観順¹ 海老原史樹文² 高中陽子³ 岡野俊行³ 深田吉孝³
名古屋大学農学部動物形態情報¹ 動物機能制御²
東京大学教養学部生命環境科学系³
- P-16 血圧及び心拍の日内変動に及ぼす自律神経系の影響
○牧野光恭¹ 竹澤博人¹ 平井真理¹ 林博史¹ 海老原史樹文²
名古屋大学医学部第一内科¹ 名古屋大学農学部動物機能制御²
- P-17 *rd*マウス(CBA/J)の網膜の退化に伴う概日光感受性の変化
○吉村崇 海老原史樹文
名古屋大学農学部動物機能制御学
- P-18 CS系マウスのサーカディアンリズム
-明暗条件下でのリズム特性-
○鈴木亨¹ 犬飼綾¹ 安倍博² 本間さと² 本間研⁻² 海老原史樹文¹
名古屋大学農学部動物機能制御学¹ 北海道大学医学部生理学第一講座²

- P-19 CS系マウスのサーカディアンリズム
-恒暗条件下でのリズム特性-
○安倍博¹ 海老原史樹文² 鈴木亨² 犬飼綾² 本間さと¹ 本間研一¹
北海道大学医学部生理学第一講座¹ 名古屋大学農学部動物機能制御学²
- P-20 老齢マウスにおけるサーカディアンリズム制御機構の加齢変化
○大島五紀 牧野進
塩野義製薬株式会社実験動物センター
- P-21 ラットにおける睡眠覚醒・脳温・腹部温・飲水・運動リズムの
律動性の解析
○池田真行 井上昌次郎
東京医科歯科大学医用器材研究所制御機器部門
- P-22 ラット視交叉上核におけるZnの組織化学
○井上恵介¹ 岡村均² 井端泰彦¹
京都府立医大第二解剖学教室¹ 神戸大学医学部解剖学第二講座²
- P-23 ラット室傍核におけるバゾプレッション及びCRHのサーカディアン
リズム
○勝野由美子 本間さと 安倍博 本間研一
北海道大学医学部生理学第一講座
- P-24 新しい時計制御遺伝子mp41産物の抗体作製の試み
○大島慶子¹ 加香孝一郎¹ 橋本将男² 石田直理雄¹
通産省・工技院・生命研・生体情報・細胞機能¹ ロート製薬²
- P-25 新規時計遺伝子mp41の5'上流解析
○鈴木悟 鞍馬正江 加香孝一郎 石田直理雄
通産省・工技院・生命研・生体情報・細胞機能
- P-26 ラットの活動リズムに及ぼすindomethacinのパルス投与の効果：
その2
○大井健 山田尚登
滋賀医科大学精神医学講座
- P-27 ビタミンB12投与による光感受性への影響
-ラットERGおよび血清メラトニン量を指標とした測定-
○中村孝文¹ 内田勝久² 森口八重子² 岡本典雄³ 森田之大²
静岡大学電子科研¹ 浜松医科大学第一生理² 共立菊川総合病院精神科³
- P-28 ハムスターの概日リズムに及ぼすプロチゾラムの影響
○小室吾朗¹ 海老原史樹文¹ 太田龍朗²
名古屋大学農学部動物機能制御¹ 医学部精神科²

- P-29 言語性幻聴の日内変動と時間治療学的アプローチ
 ○辻丸秀策 井田能成 白尾一正 松口直成 本間五郎 恵紙英昭 向笠浩貴
 福山裕夫 中沢洋一
 久留米大学医学部精神神経科
- P-30 メチルコバラミン投与時のビタミンB₁₂血中濃度の推移
 ○杉下真理子¹ 坂本安² 野村正彦² 山内俊雄¹
 埼玉医科大学精神医学教室¹ 第一生理学教室²
- P-31 高齢者における体温サーカディアンリズム
 ○山本隆一¹ 安藤富士子¹ 伊藤和美¹ 秋間秋靖² 井口昭久¹
 名古屋大学医学部老年科¹ 森孝病院²
- P-32 経口的Melatonin投与が、ヒトの覚醒水準および深部体温に及ぼす影響-Triazolamとの比較・検討-
 ○佐藤浩徳 三島和夫 松淵浪子 菱川泰夫
 秋田大学医学部精神科学講座
- P-33 断眠の抗うつ効果と尿中メラトニン代謝産物の関連
 ○山田尚登 大井健 中島聡 高橋三郎
 滋賀医科大学精神医学講座
- P-34 反復性短期うつ病における尿中メラトニン代謝産物の日内リズム異常
 ○中島聡 山田尚登 大井健 高橋三郎
 滋賀医科大学精神医学講座
- P-35 躁病期における直腸温リズムの検討
 ○福山裕夫 内村直尚 中村純 中沢洋一
 久留米大学医学部精神神経科学教室
- P-36 ナルコレプシーの日常生活下における睡眠覚醒パターン
 (2)治療前後での検討
 ○本間裕士¹ 香坂雅子² 福田紀子³ 宮本環¹ 小林理子¹ 中村文裕¹
 早坂光司⁴ 奥原浩之⁴ 小山司¹
 北海道大学医学部精神神経科¹ 札幌花園病院²
 北海道大学医療技術短期大学³ 北海道大学医学部付属病院中央検査部⁴
- P-37 概日リズム睡眠障害の6症例
 ○三上章良 本多秀治 漆葉成彦 寺島喜代治 手島愛雄 杉田義郎
 大阪大学医学部精神医学教室

- P-38 睡眠相後退症候群（DSPS）患者終夜睡眠脳波の定量解析
 ○渡辺剛¹ 加藤昌明¹ 関本正規¹ 梶村尚史¹ 高橋清久²
 国立精神・神経センター武蔵病院精神科¹ 国立精神・神経センター武蔵病院²
- P-39 大学生における睡眠習慣とその障害に関する疫学調査
 ○上島公洋 粥川裕平 早川敏治 太田龍朗 岡田保
 名古屋大学 医学部 精神医学教室
- P-40 動機づけによるウルトラディアン・リズムのマスクング効果
 ○林光緒 堀忠雄
 広島大学総合科学部
- P-41 南極観測越冬隊員の極夜期の概日リズム ～第2報～
 ○前田倫¹ 杉田義郎² 手島愛雄² 三上章良² 漆葉成彦² 本多秀治²
 大阪大学医学部麻酔学教室¹ 大阪大学医学部精神医学教室²
- P-42 急性心筋梗塞の発症時間には二つのピーク時がある
 ○望月泰朗¹ 奥谷充章¹ 岩崎宏¹ 河埜功¹ 井尻裕¹ 小森貞嘉¹ 田村康二¹
 田草川正弘² 露口直彦² 浅川哲也³
 山梨医科大学第二内科¹ 甲府城南病院² 山梨厚生病院³
- P-43 各種降圧薬の血圧日内変動および早朝血圧に及ぼす影響
 ○波多野潔¹ 安部一成² 牧野光恭² 竹沢博人² 寺沢哲郎² 平井真理²
 津田誠³ 林博史²
 愛知県がんセンター病院集中治療部¹ 名古屋大学医学部第一内科²
 愛知県尾張病院循環器内科³